

事業名	松戸のアートな場所マップの制作
団体名	松風の会

1. 事業目的と課題の現状及びその効果

上野から始まる常磐線の芸大キャンパスラインの活性化を目指したJOBANアートライン協議会が設立され、今まで常磐線沿線で点であった文化拠点を線で結びつこうとしている。

芸大のキャンパスこそ無いが、学生寮が新松戸に在り、また松戸市にも多くのアーティストが在住し、個人のギャラリー等があることがあまり知られていない。それらの存在を広く知ってもらう為に、市内のギャラリーやアートスポットを紹介するマップが必要だと考える。

今まで、史跡や観光のマップは発行されているが、ギャラリーマップは発行されていない。また創作に関わるアーティストが自らマップを作ることによって、芸術性の高いマップが作られ、それ自体がひとつの芸術作品となる。

2. 申請理由

無料で配布する事によって、多くの人たちにマップが行き渡り、ギャラリー等の来館者が増える。マップで紹介するギャラリー等からの広告費の負担を軽減する。アイデアと労力は市民が担い、資金は行政が助成する事によって、協働の文化の街づくりとなる。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

2010年

4月～

既存の博物館、美術館も含めた市内のギャラリー等の調査、市内在住アーティストの調査

6月：マップの原案作り、7月：マップ発注、8月：マップ完成

2010年9月～2011年3月

：各地域でマップを使ったアートイベントツアーの開催、ワークショップ・講座の開催

4. 事業成果の活用と将来展望

：人口48万の都市となった松戸市に、いま一番必要なのは、人と人との心のふれ合いである。団塊の世代がリタイアし、ようやく松戸都民から松戸市民として多くの人々が自覚し始めました。松戸市に生涯住み続けていく為に、松戸が豊かな文化の土壌となって、市民が自らくのアートを生み出すことの出来る環境作りが急がれる。

行政まかせにせず、市民も参画した協働の文化都市を目指す為に、マップで市民が身近に楽しむ事のできるアートスポットの紹介をし、マップを活用したイベントツアーの開催や、ワークショップの開催などを通して松戸の魅力の再発見、そして市民が協力し合い新たな創作活動を展開する事によって、心のふれ合う街作りになると考える。

## 事業の予算計画書

### 【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	広告費	50,000 円	5,000 円×10 件
前年度繰越金	3,950 円	3,950 円	
	自己資金合計 (a)	53,950 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	153,950 円	

### 【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

### 【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	マップ作成印刷費 (デザイン含む) 300 冊予定	70,000 円	デザイン費20,000 円 印刷費50,000 円
	調査委託料	50,000 円	ギャラリー、アートのスポットの 調査委託料等
	対象となる経費合計額 (d)	120,000 円	
その他	郵送費等	10,000 円	マップ等を送付する費用
	事務費 (会議等)	23,950 円	マップ版下作りや打ち合わせに かかる費用
	その他経費合計額 (e)	33,950 円	打ち上げ、事務費等
	事業費 (f) (d+e)	153,950 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。